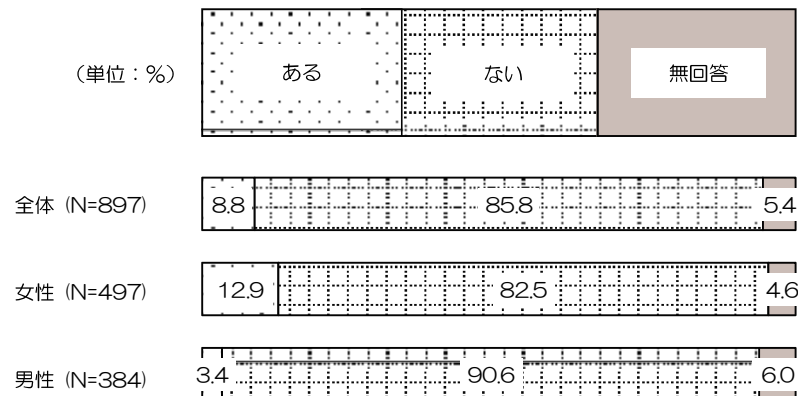


8 性暴力・性犯罪について

(1) 性暴力・性犯罪被害経験

問 27. あなたはこれまでに、望まないのに性的な行為をされたことがありますか。
(○はひとつ)

〔図表 8-1 性暴力・性犯罪被害経験〕

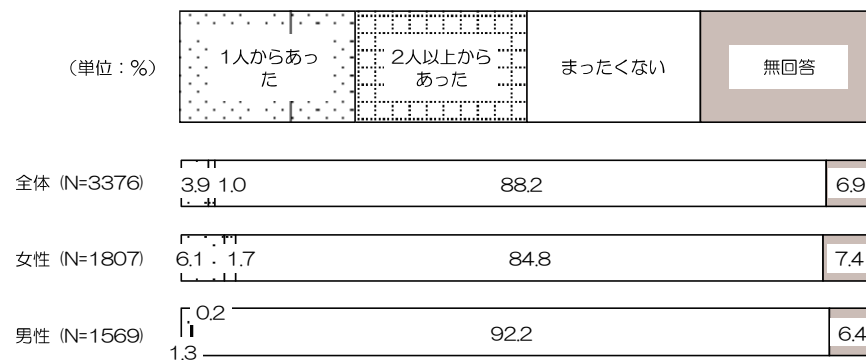


【女性の10%以上が「被害経験あり」】

性暴力・性犯罪被害経験が「ある」女性は12.9%、男性は3.4%である。(図表8-1)

〔図表 8-1-1 性暴力・性犯罪被害経験（内閣府調査との比較）〕

<内閣府（平成29年度）調査結果>



【内閣府調査との比較】

内閣府（平成29年度）調査では、「1人からあった」が3.9%、「2人以上からあった」が1.0%で、合計4.9%となっており、今回調査の方が3.9ポイント高い。(図表8-1-1)

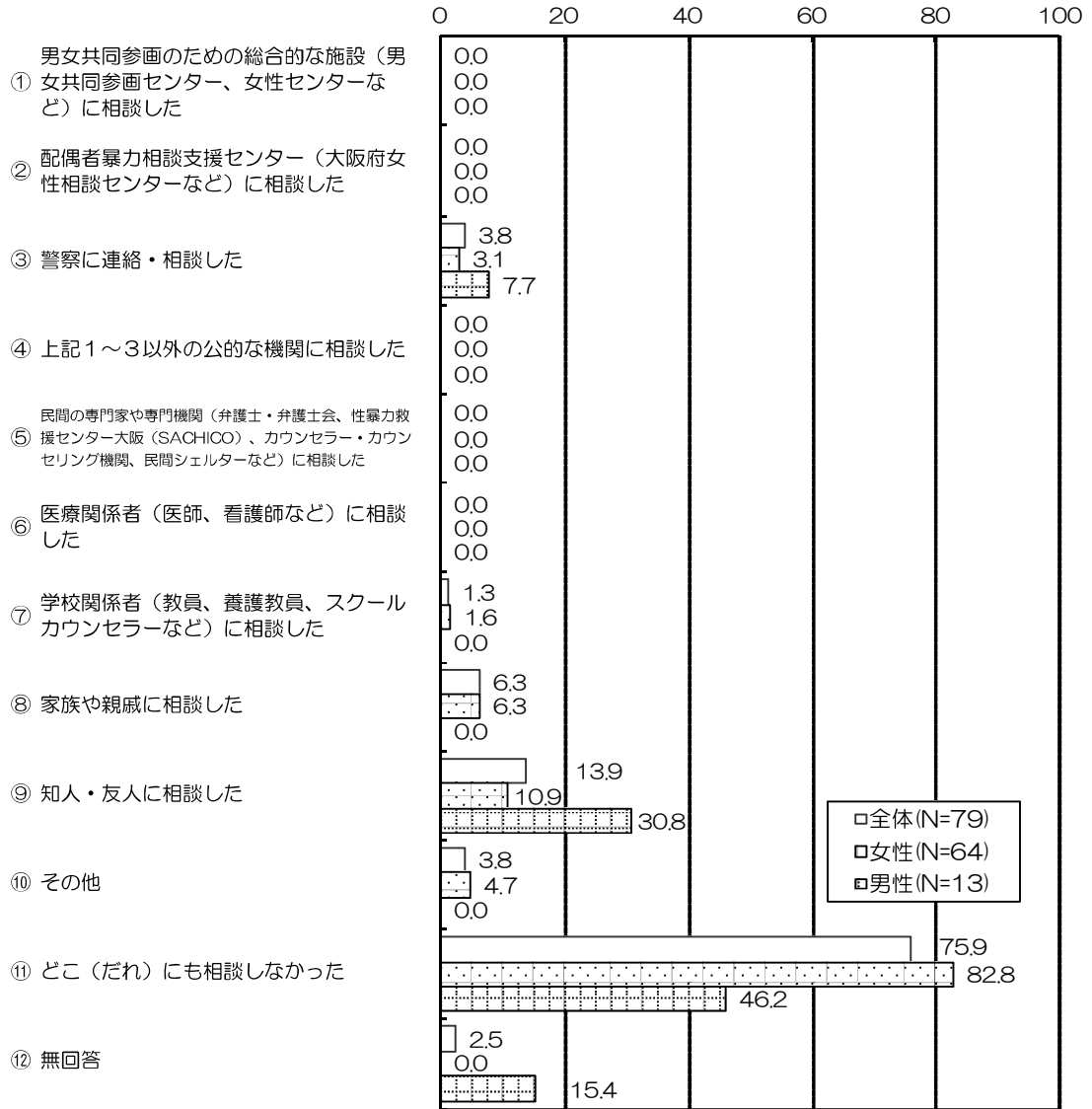
(2) 性暴力・性犯罪被害の相談先

問27-1. あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。

(○はいくつでも)

〔図表 8-2 性暴力・性犯罪被害の相談先〕

(単位：%)



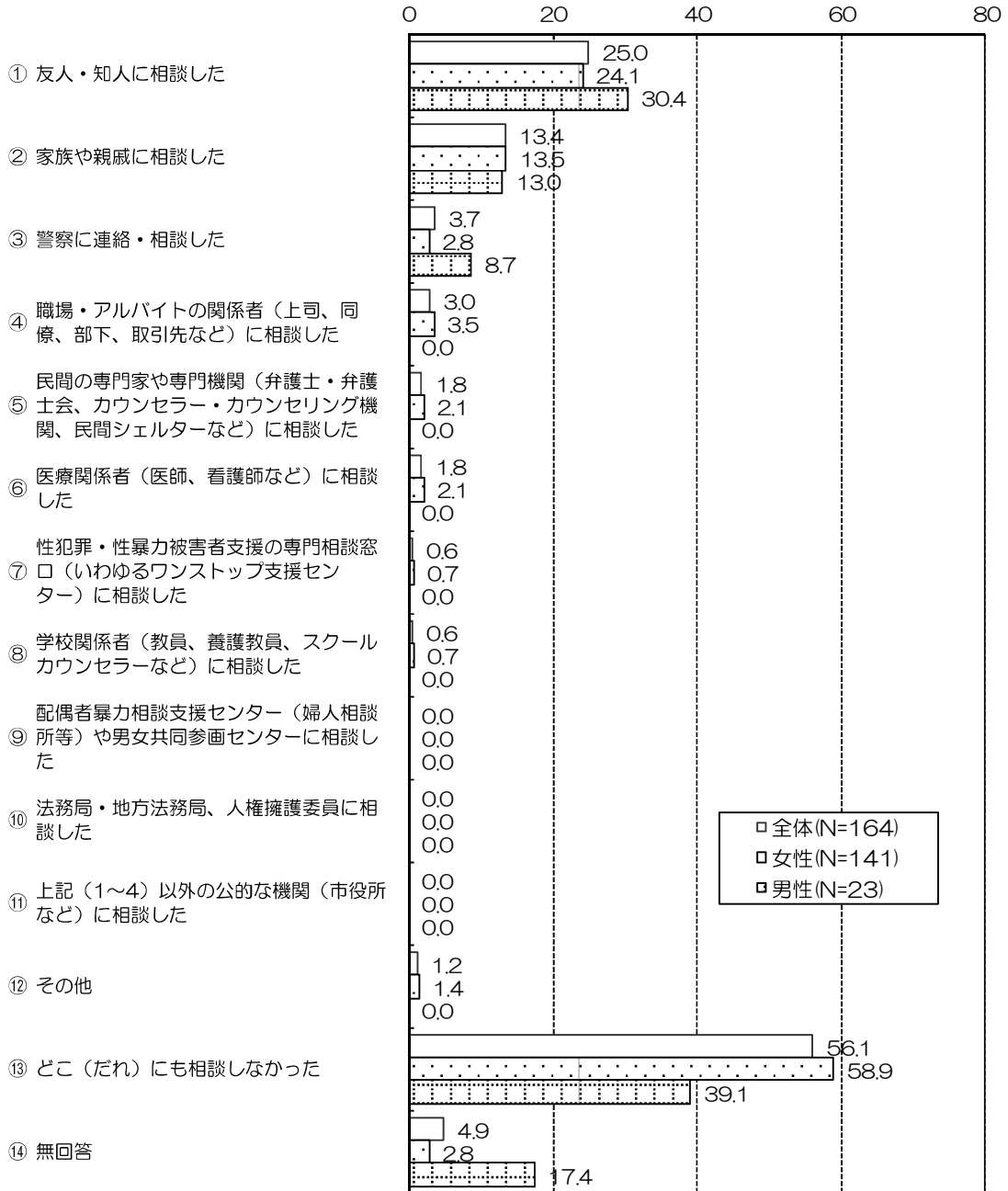
【「どこにも相談しなかった」が半数以上】

性暴力・性犯罪被害については「どこ（だれ）にも相談しなかった」が75.9%で最も高い。次いで「知人・友人に相談した」が13.9%、「家族や親戚に相談した」が6.3%となっている。（図表8-2）

〔図表 8-2-1 性暴力・性犯罪被害の相談先（内閣府調査との比較）〕

<内閣府（平成 29 年度）調査結果>

（単位：％）



【内閣府調査との比較】

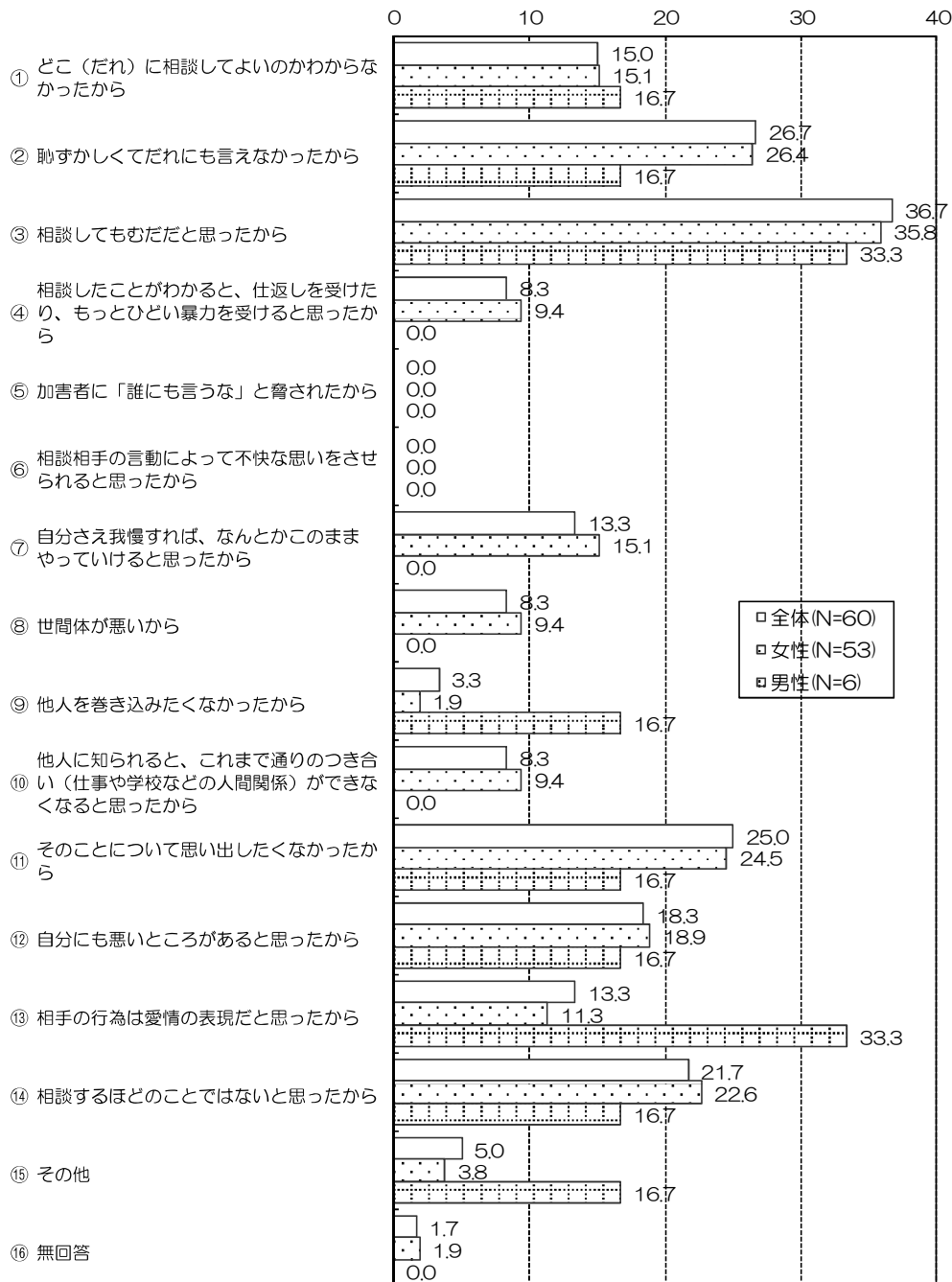
内閣府（平成 29 年度）調査では、「どこ（だれ）にも相談しなかった」は 56.1%で、今回調査の方が 19.8 ポイント高い。また、相談先として「友人・知人」「家族や親戚」の割合が高く、今回調査と同じ傾向にある。（図表 8-2-1）

(3) 性暴力・性犯罪被害を相談しなかった理由

問27-2. あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。（〇はいくつでも）

〔図表 8-3 性暴力・性犯罪被害を相談しなかった理由〕

(単位：%)

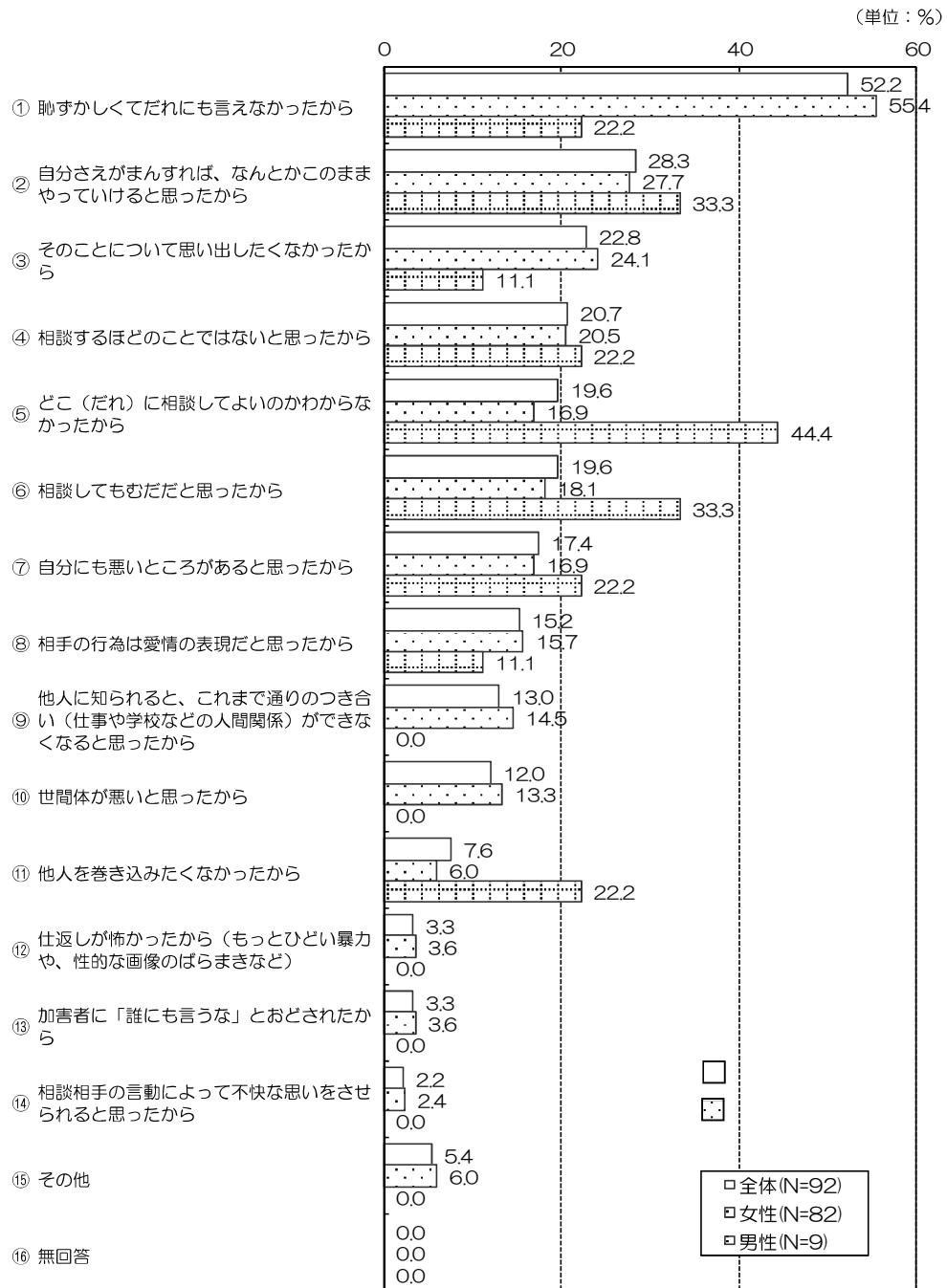


【相談しなかった理由は「相談してもむだだと思ったから」】

性暴力・性犯罪被害を相談しなかった理由は、「相談してもむだだと思ったから」が36.7%で最も高く、次いで「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が26.7%となっている。（図表 8-3）

〔図表 8-3-1 性暴力・性犯罪被害を相談しなかった理由（内閣府調査との比較）〕

<内閣府（平成 29 年度）調査結果>



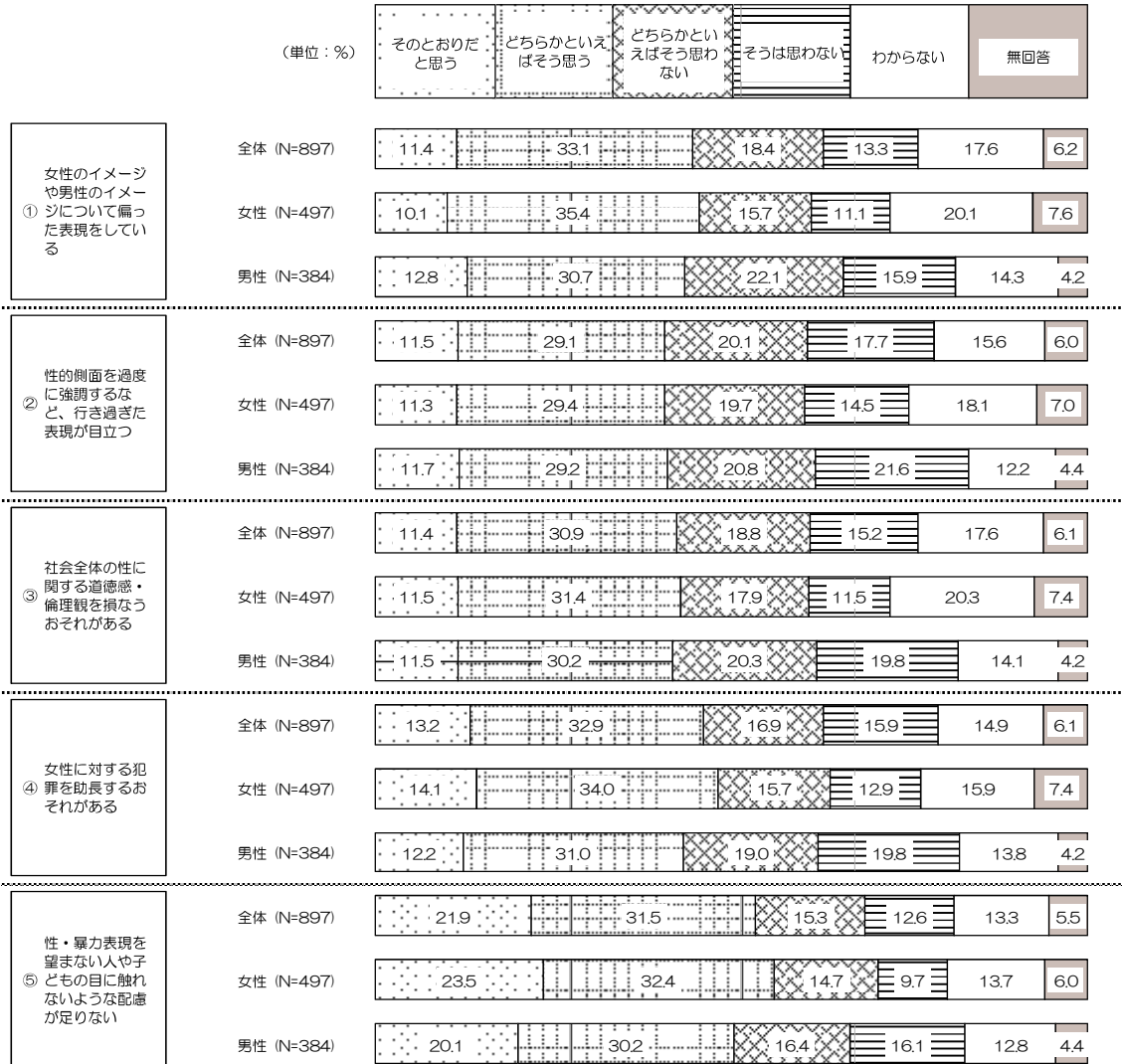
【内閣府調査との比較】

内閣府（平成 29 年度）調査では「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が 52.2%と、今回調査の方が 25.5 ポイント低い。次いで「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」（28.3 ポイント）、「そのことについて思い出したくなかったから」（22.8 ポイント）となっている。（図表 8-3-1）

(4) メディアにおける性・暴力表現

問28. テレビ、新聞、雑誌、インターネットなどメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのように思いますか。(〇はひとつずつ)

〔図表8-4 メディアにおける性・暴力表現(性別)〕



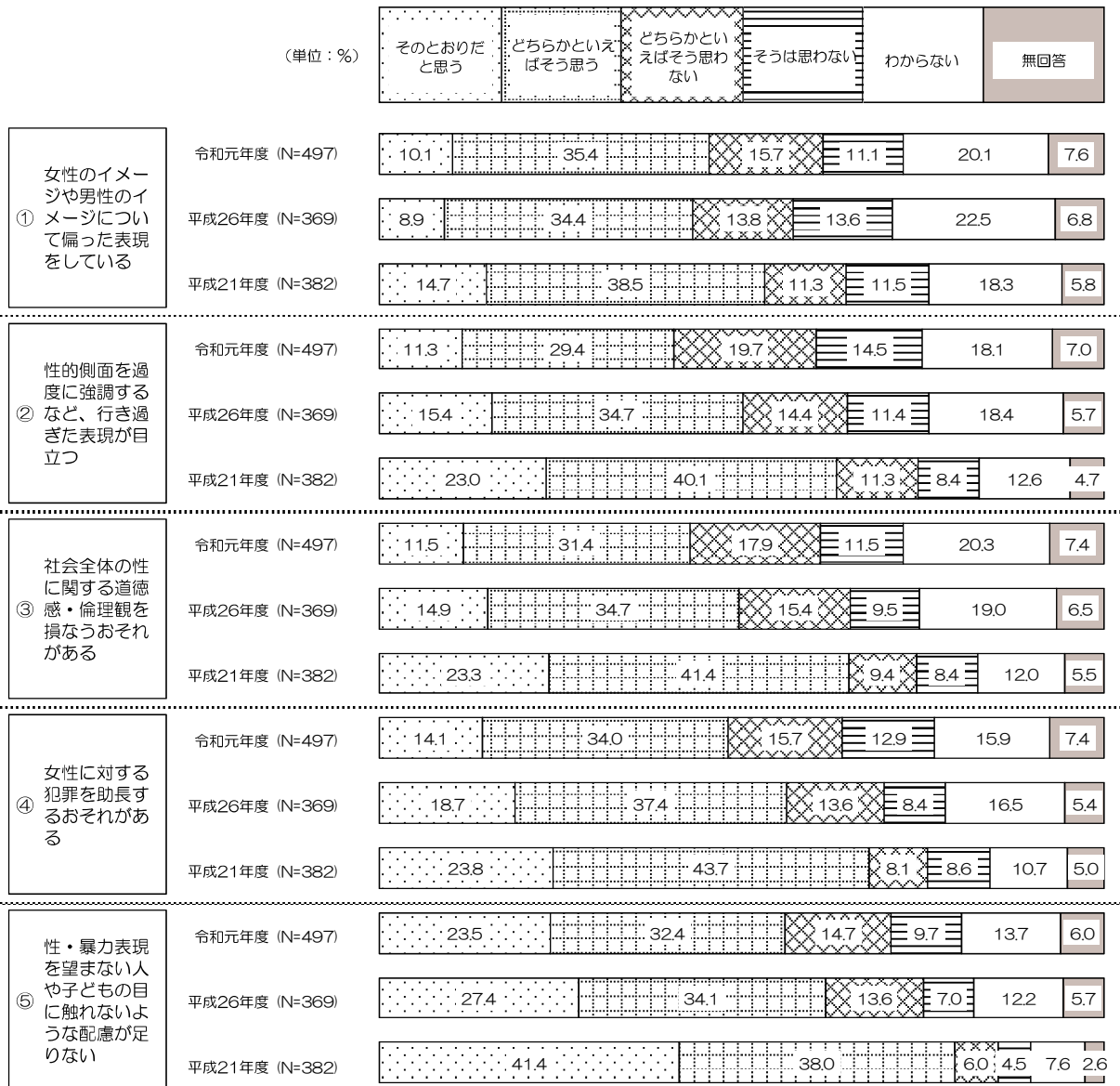
【「性・暴力表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」

と思う人が5割以上】

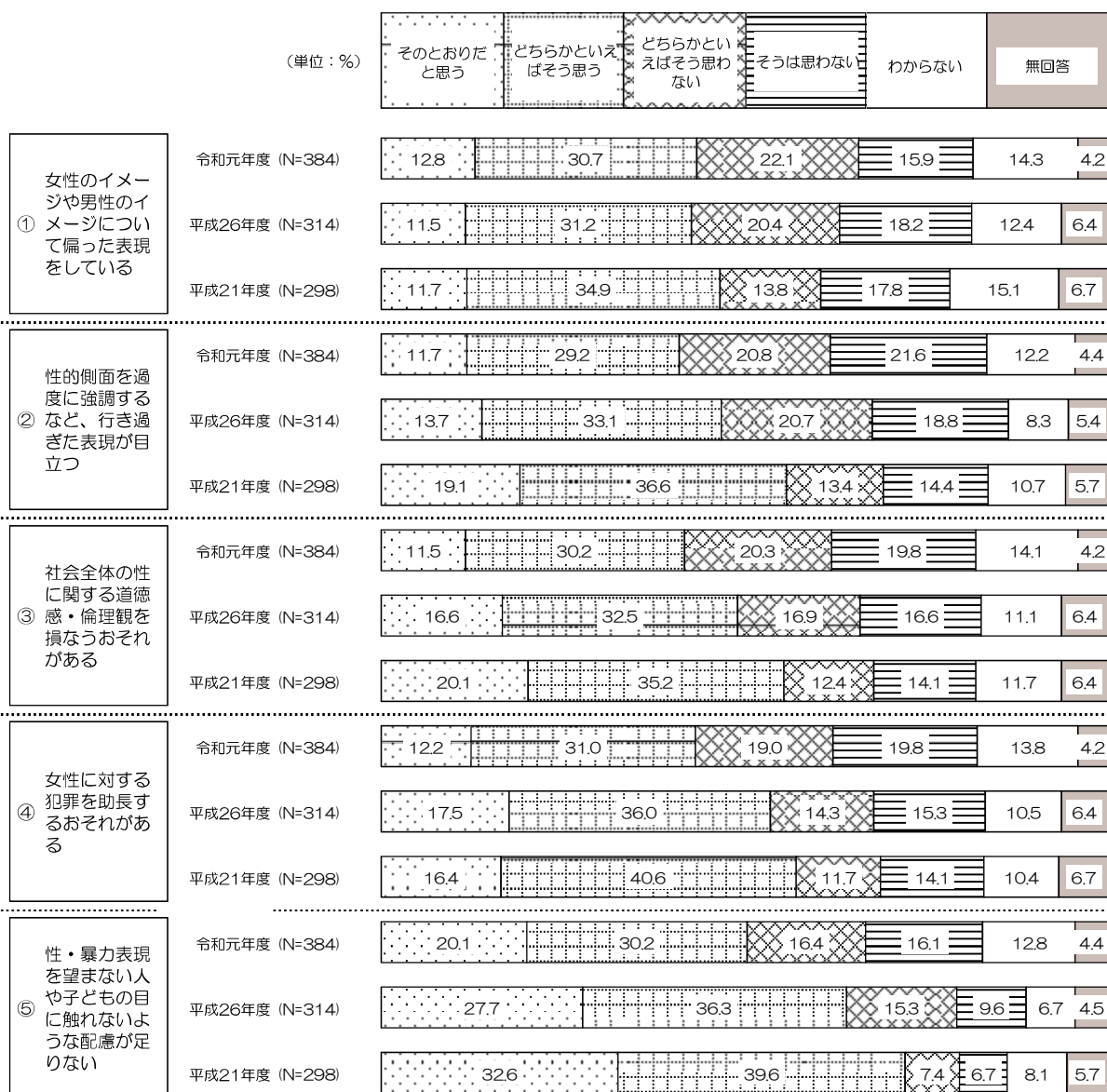
メディアにおける性・暴力表現について、『そう思う』(「そのとおりだと思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合)が最も高いのは「性・暴力表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」で53.4%となっている。(図表8-4)

〔図表 8-4-1 メディアにおける性・暴力表現（過去の調査との比較）〕

<女性>



<男性>



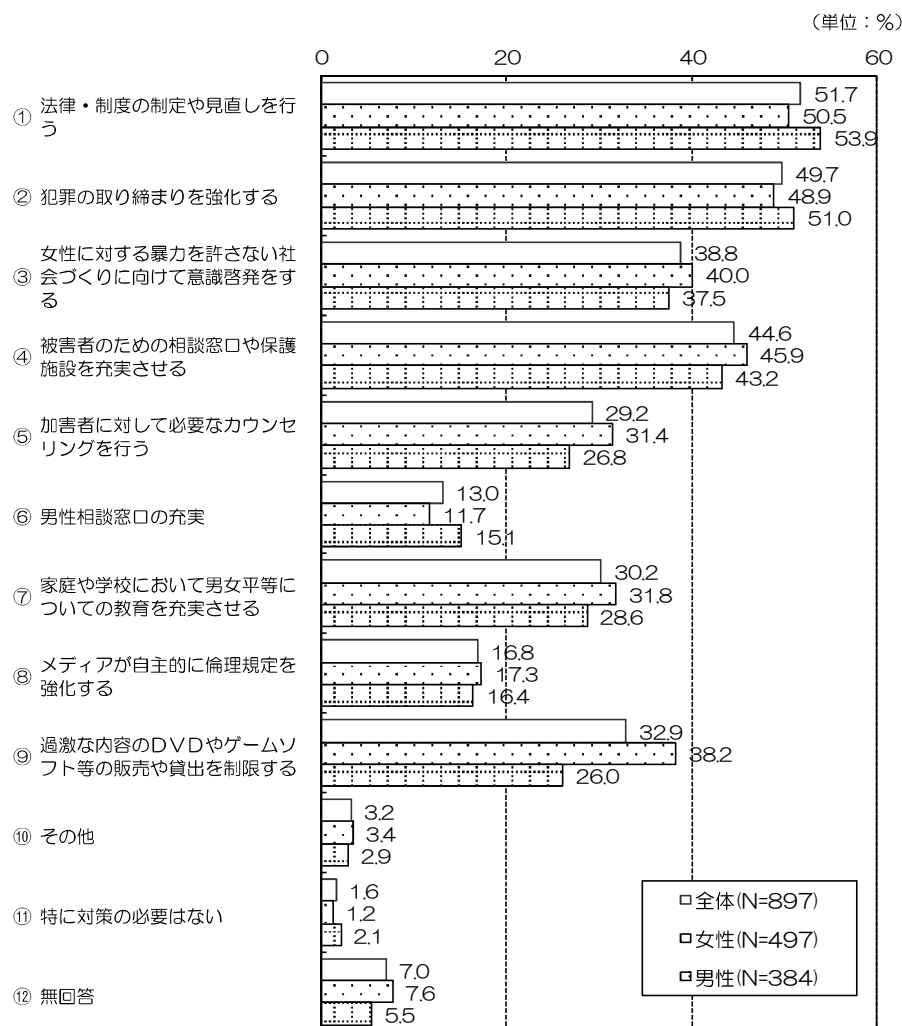
【過去の調査との比較】

平成26年度及び平成21年度調査と比較すると、ほぼ全ての項目で『そう思う』の割合が減少している。(図表8-4-1)

(5) 配偶者等からの暴力をなくすためにもっと取組が必要なこと

問29. 配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性暴力・性犯罪などをなくすために、もっと取組を進める必要があるのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

〔図表 8-5 配偶者等からの暴力をなくすためにもっと取組が必要なこと (性別)〕



【「法律・制度の制定や見直しを行う」を挙げた人が5割以上】

配偶者等からの暴力をなくすために必要な取組は、「法律・制度の制定や見直しを行う」が51.7%で最も高く、次いで「犯罪の取り締まりを強化する」が49.7%、「被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる」が44.6%となっている。性別で見ると、女性は「過激な内容のDVDやゲームソフト等の販売や貸出を制限する」が男性より12.2ポイント高くなっている。(図表8-5)